

## 地区セーフコミュニティに取り組む北小河内区の公民館に災害対応型飲料水自動販売機設置される

箕輪町北小河内区(人口約 1100 人)は、箕輪町のセーフコミュニティ取り組み開始にあわせて地区セーフコミュニティ組織(会長・区長)を立ち上げて活動を開始し、その地域力は箕輪町の世界認証にも多大な貢献をしています。

北小河内セーフコミュニティ協議会(KSC)では、

- 北小河内地区の中核である公民館が箕輪町の第 1 次避難所に指定されていること。
- 北小河内区は、平成 18 年 7 月豪雨の土石流で大きな被害を受けた経験があり、それがセーフコミュニティ取り組みの要因にもなっていること。
- 地区セーフコミュニティ組織内に自主防災班があり防災・減災活動に取り組んでいること。

等から、地区に働きかけ、避難所開設の場合には内容物が無償提供される「災害対応の飲料水自動販売機」を設置しました。地域住民による町内の避難所予定場所への設置が広がる事を期待しています。

会長(区長)への鍵引き渡し



### 1 経過とお披露目会での会長(区長)挨拶

平成 23 年 1 月、箕輪町と北信コカ・コーラボトリング株式会社は「災害時における救援物資提供に関する協定書」を締結し、長田ドームにメッセージボード搭載自動販売機(災害時の情報提供と内容物の無償提供)を設置していることから、同協定の一環とし第 1 次避難所となる北小河内公民館に災害対応の飲料水自動販売機を設置したものだ。

なお、この取り組みは、箕輪町地区セーフコミュニティ推進協議会連絡会からの紹介で実現したもので、お披露目会において会長は「最近の自然災害を見ていると、いつふりかかるか分からない。活用されないことが望ましいが、できることは備えておくことが大切です。」と挨拶をしました。

## **2 設置年月日(お披露目会)**

平成 30 年 9 月 7 日(金)

## **3 設置場所**

箕輪町 北小河内公民館玄関前

## **4 設置される飲料水自動販売機**

北陸コカ・コーラボトリング株式会社長野地区本部諏訪支店の所有・管理に係わる飲料水自動販売機

※電気料金等管理維持は所有・管理者が行い売り上げの 10%は北小河内区に

## **5 災害時の活用**

避難所開設時には、区管理の鍵で開場して避難者等に内容物(最大約 600 本)が無償提供されます。

～以上～